整理No.	150

事業評価シート

（第2号様式）

実施計画事業名	道路整備事業	評価対象年度	平成　22　年度
評価担当部署	建設産業部　土木課	課長（主幹）名	河　上　真　一

総合計画体系			
	分　野	4	都市基盤
	政　策	3	調和のとれた持続可能なまちづくり
	施　策	3	生活を支える社会基盤整備を進めます
	関連施策	なし	

現状と課題

これまで整備されてきた道路、橋梁等の道路施設の多くは、整備後、長年の経過とともに老朽化が進んでいる。本格的な更新時期を迎えているものは、本市の財政面を考慮し優先度に応じた計画的な整備が必要である。また、安全・安心な暮らしを確保するとともに、道路施設を今後も有効に活用していくため、適正な維持管理や長寿命化などを図っていく必要がある。

目的

道路・歩道の新設、既設道路・歩道の再整備、橋梁の長寿命化や耐震補強を行うことで、市民・道路利用者などの利便性、安全性を向上させることを目的とする。

5ヶ年の施策展開

優先度に応じた長期的な計画のもと、特に交通量が多く老朽化が著しい路線等を優先して整備していく。

成果指標

名　称	単　位		21　年度	22　年度	25　年度
道路施設維持補修箇所数	箇所	目標	－	350	320
説明：道路施設の適切な管理を行うことで、維持補修が必要な箇所数（単年度）を減少させていく。		実績	331	342	

活動指標

名　称	単　位		21　年度	22　年度	25　年度
道路整備延長	m	目標	1,310	1,070	1,050
説明：道路整備を行った延長（単年度）		実績	960	3,061	
パトロール日数	日	目標	160	160	160
説明：通常のパトロール及び要望・苦情対応としてのパトロールを行った日数（各年度4月～11月：冬期間は除く）		実績	180	188	
		目標	－	－	－
説明：		実績			
		目標	－	－	－
説明：		実績			

事業費の実績

	単位	21　年度（決　算）	22　年度（評価年度決算見込）	23　年度（予　算）	備　考
直接事業費（A）	千円	355,762	352,060	238,971	（H23への繰越 28,154千円あり）
国庫支出金	千円	127,999	40,210	52,754	
道支出金	千円	0	0	0	
起　債	千円	69,000	20,600	17,900	
その他	千円	0	0	0	
一般財源	千円	158,763	291,250	168,317	
この事業にかかる職員数	人/年	3.70	3.45	3.45	
人件費（B）	千円	25,626	23,429	23,429	
計（A＋B）	千円	381,388	375,489	262,400	

状況変化

実施計画当初（平成21年～）からの状況変化

【1次評価】

成果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか（単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測）
	a　a 目標達成　b ほぼ目標どおり　c 目標達成できず（目標値と大きな差がある）
	＜c の場合は、なぜかを分析して記入する＞
細事業の構成・進め方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a　a 問題なし　b 検討の余地がある　c 早急な改善が必要
	＜b またはc の場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する＞
	各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか
	a　a 問題なし　b 検討の余地がある　c 早急な改善が必要
	＜b またはc の場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する＞
コスト効率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	a　a 問題なし　b 改善の余地がある
	＜b の場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する＞
総合評価	A　概ね問題なし
	＜A～C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する＞ 今後も道路施設を有効に活用していくため、計画的な改良や維持管理を図っていく。

【2次評価】

成　果	a	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a	
総合評価	A	概ね問題なし						
	＜2次評価者の視点からコメントを記入する＞ 1次評価のとおり取り進めること。							

【内部評価委員会】

意見	

道路整備事業	最終更新日	平成	23	年	4	月	25	日